

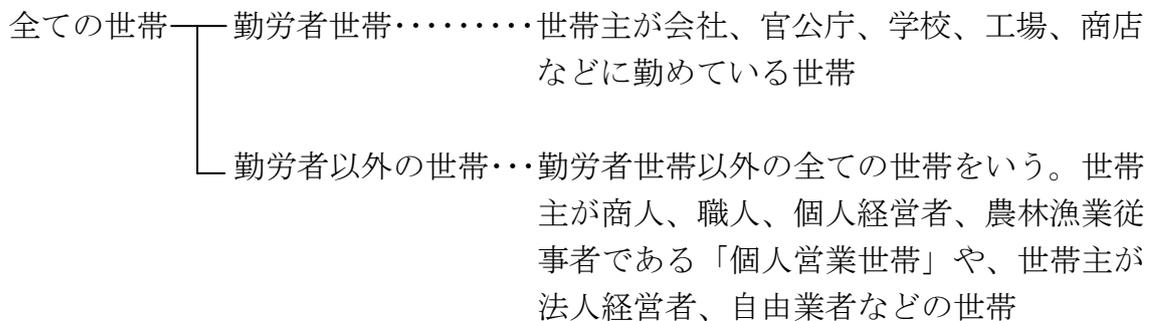
2 用語の解説

(1) 集計世帯数、世帯数分布(抽出率調整)、1万分比

集計世帯数とは、実際に集計に用いた世帯数のことである。また、世帯数分布(抽出率調整)とは、調査市町村ごとに抽出率が異なるので、抽出率の逆数に比例した調整係数等を集計世帯数に乗じて得た世帯数である。

1万分比とは、世帯数分布(抽出率調整)の合計を10,000とした世帯数の分布をいう。

(2) 世帯の区分



(3) 収入と支出

収入は、勤め先収入や事業収入・内職収入・財産収入など実質的に資産の増加となる収入を集めた「実収入」、預貯金引出・有価証券売却などの資産の減少あるいは借入金・月賦など負債の増加となる収入を集めた「実収入以外の受取(繰入金を除く)」及び月初めの手持ち現金残高である「繰入金」に分類される。

支出は、いわゆる生活費である「消費支出」、税金・社会保険料などの支出を集めた「非消費支出」(「消費支出」と「非消費支出」を合わせて「実支出」という。)、預貯金・借金返済など資産の増加あるいは負債の減少となる支出を集めた「実支出以外の支払(繰越金を除く)」及び月末の手持ち現金残高である「繰越金」に分類される。

(4) 可処分所得

実収入から税金・社会保険料などの非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

(5) 平均消費性向

可処分所得に対する消費支出の割合をいう。

(6) 平均貯蓄率

可処分所得に対する貯蓄純増の割合をいう。

(7) 品目分類と用途分類

消費支出は、品目分類と用途分類の2体系の分類を用いて集計している。

品目分類は、世帯が購入したものを、同一商品は同一項目に分類する方法で、用途分類は、世帯が購入したもののうち、世帯以外の人のために贈答又は接待を目的として購入したものについては「交際費」として分類し、その他のものについては、品目分類で分類する方法である。

(8) 貯蓄・負債現在高

用語の解説(別紙1)【貯蓄・負債の範囲と内容】参照。

(9) 主要耐久消費財

用語の解説(別紙2)【主要耐久財の範囲と内容】参照。

(10) 所有数量

主要耐久消費財の1000世帯当たりの所有数量を表す。なお、所有数量の単位は、便宜上「床暖房」を「畳」、他のすべての品目を「台」で表す。

(11) 普及率

当該主要耐久消費財を所有している世帯の割合をいう。